

音楽科 小学校第4学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	学年の歌 ・子どもの世界		1		小学校第3学年 「学年の歌」 ・友だち	○年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	小学校第5学年 「オリエンテーション」 ・ビリーヴ	■2つの旋律を重ねて歌う。
	楽譜を読もう ・あわてんぼうのうた ・歌のにじ ・せんりつづくり	A(1)ア A(2)ア A(3)ア	5 (+2)	曲想に合った表現や音づくりなどの活動の基礎となるため、ハ長調の曲に親しみながら読譜に慣れる必要がある。	「楽譜を読もう」 ・ドレミで歌おう ・海風きって ・せんりつづくり	○ハ長調の楽譜に親しみ、音程やリズムに気をつけながら階名で視唱したり視奏したりして、読譜に慣れるようにする。	「楽譜を読もう」 ・赤い屋根の家 ・一輪の赤い花	■階名唱に慣れる手立て ①5線上の5つの音 ミソシレファ→みそしるは ②線と線の間の音 レファラドミ（下から）
5	こころのうた ・とんび		2		「こころのうた」 ・春の小川	○旋律の音の動きを感じ取って、強さを工夫しながら歌う。 ○楽譜を見ながら、階名で歌う。	「こころのうた」 ・こいのぼり	■音量を変化させて表現を豊かにする。
	リコーダーをふこう ・雨の公園, 子もり歌	A(2)ウ	3		「リコーダーをふこう」 ・小鳥のために ・夕やけこやけ, 小さな花	○リコーダーのサミングを覚えて、きれいな音で演奏することができるようにする。	「いろいろな響きを味わおう」 ・いつでもあの海は ・リボンのおどり ・双頭のわしの旗の下に ・アイネクライネナハトムジ 第1楽章	■サミングの親指は下にずらすようにする。
6	拍の流れにのろう ・風のメロディ ・朝の気分 ・友達シンドバッド ・せんりつづくり	A(1)イ B(1)ア A(3)ア	7		「拍のながれにのろう」 ・とどけよう このゆめを ・新しい世界 ・坂道, 雨上がり, 白い雲 ・そよ風 ・せんりつづくり	○拍の流れにのって、拍子を感じ取りながら表現したり聴いたりすることができるようにする。	「楽譜を読もう」 ・赤い屋根の家 ・一輪の赤い花	■指揮のまねをしながら聴く。
	こころのうた ・まきばの朝		2		「こころのうた」 ・うさぎ	○旋律の音の動きを感じ取りながら歌う。 ○楽譜を見ながら階名で歌う。	「こころのうた」 ・子もり歌	■フレーズごとにリレー唱をする。
7	いろいろな音色を感じ取ろう ・バディネリ, クラリネットポルカ ・音のカーニバル ・音づくり ・リズムアンサンブル	A(3)イ B(1)アウ	7		「いろいろな音色をかんとろう」 ・トランペットふきの休日, アレグロ ・おかしなすきなまほう使い ・音づくり	○いろいろな音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりすることができるようにする。 ○音の特徴や音色の違いを生かして、音色や音量のバランスに気をつけながら、音の組み合わせを工夫して演奏することができるようにする。	「いろいろな響きを味わおう」 ・いつでもあの海は ・リボンのおどり ・双頭のわしの旗の下に ・アイネクライネナハトムジ 第1楽章	■リズムパートの練習 ①リズム打ち ②旋律との掛け合い ③人数を変える ④友達との手拍子 (ボディパーカッション)
	こころのうた ・もみじ		2		「こころのうた」 ・うさぎ	○声の響き合いを感じて歌う。	「こころのうた」 ・冬げしき	■主旋律と副次的旋律の歌詞唱で両方を体験する。

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
1 1	せんりつのとくちょうを感じ取ろう ・つるぎのまい,白鳥 ・陽気な船長 ・オーラ リー	A(2)イ A(1)イ B(1)ア	9		「せんりつのとくちょうをかんじとろう」 ・メヌエット ・山のポルカ ・一人の手 ・ゆかいな木琴 ・リズムばんそうづくり	○旋律や曲の特徴を感じ取りながら、想像豊かに聴いたり思いや意図をもって表現したりすることができるようにする。 ○旋律や曲の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現の仕方を工夫しながら演奏することができるようにする。	「曲想を味わおう」 ・だれかが口笛ふいた ・ハンガリー舞曲第5番 ・リズムアンサンブル ・キリマンジャロ	■曲の感じが対照的な2つの曲を比べて聴く。 ■スタッカートの歌い方 ・腹筋を使って音を短く切る。 ・自分のおなかを触ってみる ・2人1組になって確かめ合う。
1 2	ゆかいに歩けば ・冬の歌 ・リズムばんそうづくり							
1	音の重なりを感じ取ろう ・パレードホッホー ・ファランドール ・レッツ ダンス ・茶色の小びん	A(1)イ A(2)エ B(1)イ	8		「音の重なりをかんじとろう」 ・歌おう声高く ・かね ・あの雲のように ・パフ ・リズムばんそうづくり	○旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴いたりすることができるようにする。 ○互いの歌声や楽器の音を聴き合いながら、気持ちを合わせて演奏することができるようにする。	「和音の美しさを味わおう」 ・静かに眠れ ・それは地球 ・威風堂々第1番	■旋律の違いを聴き取る手立て ・「王の行進」と「馬のダンス」のグループに分かれ、向かい合って聴き合図を出し合う。
2	日本の音楽に親しもう ・ソーラン節,南部牛追い歌 ・トラジ打令,小さな淡黄色の馬 ・こきりこ ・リズムばんそうづくり	A(3)イ B(1)ウ	6		「日本の音楽に親しもう」 ・祇園囃子,神田囃子	○日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、我が国や郷土の伝統音楽に親しむようにする。 ○日本の旋律の特徴を感じ取りながら、聴いたり表現したりすることができるようにする。	「詩と音楽を味わおう」 ・待ちぼうけ 「日本と世界の音楽に親しもう」 ・春の海 ・世界の国々の音楽 ・アリラン,まつり花	■性格の異なる民謡を比較しながら聴く。
	こころのうた ・さくらさくら	A(1)イ B(1)ウ	1			○日本語の美しさや日本の旋律の感じを生かして歌う。 ○ことの音楽を聴く。	「こころのうた」 ・スキーの歌	■ゆったりとした旋律や琴の音色に耳を傾ける活動を通して、日本の音楽の特徴に気づく。
3	音楽を楽しもう ・ドレミの歌 ・山の魔王の宮殿にて ・はげ山の一夜 ・チャレンジ	A(1)エ B(1)ウ	5		「音楽を楽しもう」 ・きょうりゅうとチャチャチャ ・バードウォッチング ・小犬のワルツ ・花のワルツ ・チャレンジ	○今まで学習してきたことを生かして、音楽を表現する楽しさや聴く喜びを味わうことができるようにする。	「音楽の楽しさを味わおう」 ・大空が迎える朝 ・失われた歌 ・世界が一つになるまで ・つばさをだいて	■聴き合って歌う。
			58					